

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ユネスコ会議関係共通経費		担当部局庁	国際統括官付		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司	
会計区分	一般会計		施策名	XIV-2 国際協力の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律(第3条)		関係する計画、 通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)主催の国際会議に出席し、我が国が必要な提案や発言等を行うことで、ユネスコ活動への積極的な貢献を果たす。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	ユネスコでは定例の国際会議(ユネスコ総会、執行委員会等)の他、教育、科学、文化、コミュニケーションに係る国際会議を各国の希望に基づき、当該国がホストする形で不定期に開催している。本経費は、これらの国際会議への出席に必要な経費である。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	17	17	17	17	17
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	17	17	17	17	17
	執行額	15	12	15			
執行率(%)	84.0%	68.6%	91.1%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	ユネスコ主催の国際会議へ出席するための経費であり、定量的な成果指標の設定は困難。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	出席会議数		活動実績 (当初見込み)	14	15 ( 15 )	11 ( 11 )	- ( 17 )
			算出根拠	= 予算執行額(15+12+15百万円) ÷ 出席会議数(14+15+11件) ※平成21~23年度の平均値			
単位当たり コスト	0.9百万(円/件)						
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1.6百万円	1.6百万円				
	庁費	1.7百万円	1.7百万円				
	諸謝金	0.8百万円	0.8百万円				
	政府開発援助諸謝金	1.4百万円	1.4百万円				
	政府開発援助職員旅費	5.7百万円	5.7百万円				
	政府開発援助委員等旅費	0.3百万円	0.3百万円				
	政府開発援助庁費	5.8百万円	5.8百万円				
計	17.3百万円	17.3百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ユネスコ主催の国際会議に出席し、我が国が必要な提案や発言等を行うことで、ユネスコ活動への積極的な貢献を果たすことを目的としており、優先度が高い事業であるとともに、国としての対応が求められている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	ユネスコ主催の国際会議出席に当たっては、ユネスコ日本政府代表部の協力を得て、出張者数を抑制するなど単位当たりコストの削減に努めるとともに、その業務の特殊性から真に必要な内容に厳選した上で、支出を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成23年度は、ユネスコ総会に出席し、東日本大震災の経験も踏まえた首席代表演説を行うなど、我が国のプレゼンス向上に寄与した。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	ユネスコ主催の国際会議において、我が国が必要な提案や発言等を行いユネスコ事業に関する影響力を持続けるために、引き続き本事業予算を適切に執行するよう努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、ユネスコが開催する定例及び不定期の国際会議に出席するものであり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：当該事業は、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられるが、さらなる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減	本事業については、ユネスコが開催する定例及び不定期の国際会議に出席し、我が国として必要な提言や発言等を行うものであるが、平成23年度の執行実績を踏まえ、航空賃の積算を見直すことにより、概算要求に▲0.05百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0417	平成23年行政事業レビュー	0022

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

文部科学省  
15百万円

庁費 7百万円  
旅費 7百万円  
諸謝金 1百万円

ユネスコの定例の国際会議(ユネスコ  
総会、執行委員会等)及びその他教  
育、科学、文化、コミュニケーションに  
係る国際会議に出席。